

# 表やグラフに表して考える

- 個人
- グループ
- 学級全体

集めた情報  
表  
グラフ用紙  
ものさし  
カラーペン

収集した情報を表やグラフなどの統計的な方法で整理して、考えます。

**利 点**

- ・情報を可視化することで、事象の特徴がとらえやすい。
- ・事実やお互いの関係をとらえやすい。

**種類とその特徴** (算数科との関連)

**表**

**1次元表**

1項目に対し、数量がわかる。  
(3年)

**2次元表**

縦・横の項目を利用し、二つの  
項目で数量を整理する。(3年)

**グラフ**

**棒グラフ**

数量を比べる (3年)

**折れ線グラフ**

数量の変化をみる (4年)

**円グラフ**

割合をみる (5年)

**帯グラフ**

割合を比べる (5年)

**ヒストグラム**

資料のちらばりをみる (6年)

(柱状グラフ)

○表への整理の手順○

- 1 「正」の字を書いて、項目ごとに数量を調べます。
- 2 項目ごとに数字に直します。
- 3 何についてのデータなのかの表題と、調べた日をつけます。
- 4 数の少ない項目は、まとめて「その他」にします。

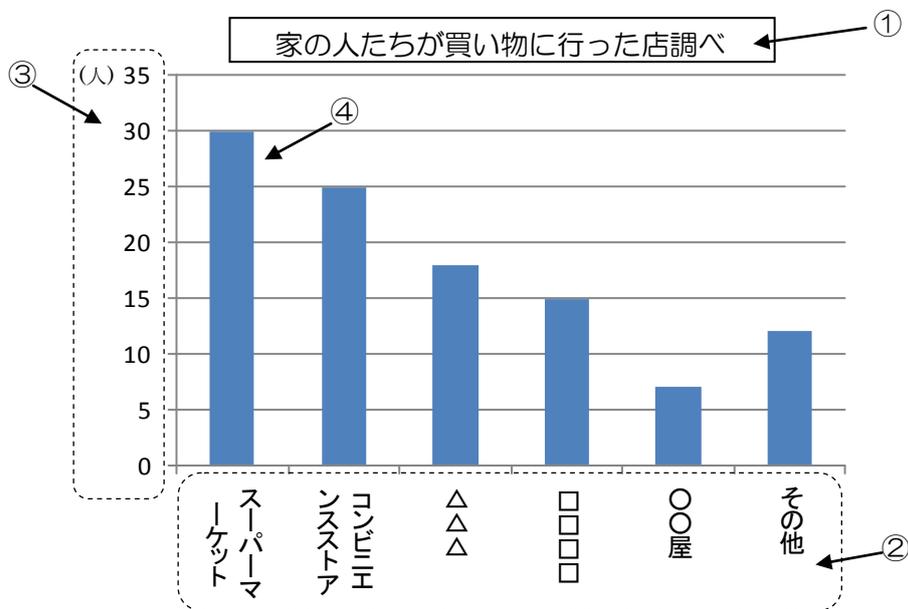
例) スーパーマーケット 正正正正正正  
 コンビニエンスストア 正正正正正  
 ○○屋 正T  
 □□□□ 正正正  
 ……

家の人たちが買い物に行った店調べ (7月1日, 2日調べ)

店の種類	スーパーマ ーケット	コンビエ ンスストア	○○屋	□□□□	△△△	その他
人数(人)	30	25	7	15	18	12

## ○グラフのつくり方○

- ① 表題を書きます。
- ② 横軸を設定します。
- ③ 縦軸にめもりを書きます。  
(めもりは、一番多い量を書けるようにして、単位も書きます)
- ④ めもりを基に、多い順に棒を書きます。(折れ線グラフの場合、点を打って直線でつなぎます)



## 表やグラフの読み取り方

### 事 実

- 1 表題や縦軸・横軸の項目から、何についての表・グラフかを考えます。
- 2 数値の一番大きい項目、小さい項目をみつけます。  
(折れ線グラフの場合、傾きの大きいところ、変化のないところをみつけます)
- 3 項目の数値を比べます。

### 思ったこと・考えたこと

- 4 事実から、どのようなことがわかるかを考えます。
- 5 なぜそうなっているのか、理由を考えます。
- 6 疑問、もっと知りたいことはないかを考えます。

例) 表、グラフ「家の人たちが買い物に行った店調べ」

#### 事 実

- ・スーパーマーケットで買い物をする人が一番多い。
- ・スーパーマーケットで買い物をする人数は、□□□□の2倍である。

#### 思ったこと・考えたこと

- ・○○通りにある店で買い物をする人が多い。
- ・毎日安売りをしているからスーパーマーケットで買い物をする人が多いのだろう。
- ・コンビニエンスストアは、夜遅くまで開いていて便利だから買い物をする人が多いのだろう。